

不登校児童生徒支援H28、H29比較

	別室登校等サポート事業（H26～） ※H29もモデル校区以外は継続実施	不登校児童生徒アウトリーチ型 支援事業（H29）
対 象	小学5・6年生、 中学1年生 ※ただし、中学1年生は小学校で本事業 のサポートを受けていた生徒に限る	モデル校区の 小学4～6年生 中学1～3年生
サポート内容 ※下線がアウトリーチ型支援	別室登校支援（別室での見守り・学習 サポート） <u>登校のお迎え</u>	授業時間中の学習サポート 放課後学習支援 別室登校支援 <u>登校のお迎え</u> <u>放課後の自宅への訪問</u> <u>エルカフェへの誘導</u> その他学校の要望に基づき区が 認める支援
サポーター	現在の学校ボランティア	現在の学校ボランティア ※学校ボランティアについては、区役 所でも人材の確保に努めます 委託先の事業所（不登校支援をし ているNPO等）から配置される スタッフ

※スクールソーシャルワーカーの支援の充実については、教育委員会から派遣されるスクールソーシャルワーカーも活用できるようにする。

港エンパワメント塾（仮称）

1. 目的

主体的に学習に取り組む姿勢を育むため学習のノウハウを学んだり、子どもの実態に応じた更なる学習指導を行い、家庭学習の習慣づくりを図る。

2. 対象

港区在住の中学生。ただし、定員を超えた場合は、塾代助成事業※のクーポン利用者を優先した上で抽選を行なう予定。

※大阪市では、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供できるよう、学習・文化・スポーツに関する指導・教育を行う事業者で月額1万円まで利用できる塾代助成カードを交付する「塾代助成事業」を実施しています。

3. 実施場所、定員

港区5中学校区でそれぞれ1箇所、計5箇所。15名×3クラス（学年ごと）。

4. 実施期間、時間

平成29年6月～3月（予定）、全95日（1週間に2～3日）
午後6時～9時（1学年1コマ50分×3学年）

5. 事業内容

次の2つの内容によって、学び直しを支援し、学習習慣づくりを促進し、自己肯定感の醸成及び学力向上を図る。

(1) 国語、数学などの教科学習（1日50分、月8日、午後6～9時）

・習熟の程度に応じきめ細かい指導と学び合いによるグループ学習により、学び直しを支援する。

(2) エンパワメント学習（1日50分、年15日、午後6～9時）

・参加体験型で、学習意欲の喚起・基本的な生活学習習慣の重要性とノウハウ・学習方法や学習のマネジメント・インターネットの無料の講義等の動画やアプリの活用などICTの活用等を含む内容。

6. 実施方法

公募により事業を実施する民間事業者を選定。

港エンパワメント塾（仮称）

1. 目 的

主体的に学習に取り組む姿勢を育むため学習のノウハウを学んだり、子どもの実態に応じた更なる学習指導を行い、家庭学習の習慣づくりを図る。

2. 対 象

港区在住の中学生。ただし、定員を超えた場合は、塾代助成事業※のクーポン利用者を優先した上で抽選を行なう予定。

※大阪市では、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供できるよう、学習・文化・スポーツに関する指導・教育を行う事業者で月額1万円まで利用できる塾代助成カードを交付する「塾代助成事業」を実施しています。

3. 実施場所、定員

港区5中学校区でそれぞれ1箇所、計5箇所。15名×3クラス（学年ごと）。

4. 実施期間、時間

平成29年2学期～（予定）、全95日（1週間に2～3日）
午後6時～9時（1学年1コマ50分×3学年）

5. 事業内容

次の2つの内容によって、学び直しを支援し、学習習慣づくりを促進し、自己肯定感の醸成及び学力向上を図る。

（1）国語、数学などの教科学習（1日50分、月8日、午後6～9時）

・習熟の程度に応じきめ細かい指導と学び合いによるグループ学習により、学び直しを支援する。

（2）エンパワメント学習（1日50分、年15日、午後6～9時）

・参加体験型で、学習意欲の喚起・基本的な生活学習習慣の重要性とノウハウ・学習方法や学習のマネジメント・インターネットの無料の講義等の動画やアプリの活用などICTの活用等を含む内容。

6. 実施方法

公募により事業を実施する民間事業者を選定。